

発明の権利化と社会貢献

授業概要

研究から生まれる発明の権利化と知的財産に関する基礎知識を講義・セミナー等において習得し、医工連携の研究事例や産学連携による新産業創出およびマーケティングについての特論をオムニバス形式で学ぶ。

担当教員

中村 守彦（主担当）	教授・医学系研究科医科学専攻	産学連携センター
阿久戸 敬治	教授・産学連携センター	
北村 寿宏	教授・産学連携センター	
丹生 晃隆	准教授・産学連携センター	
中野 睦子	客員教授・産学連携センター	

一般目標 general instructional objectives

1. 発明の権利化について把握する。
2. 知的財産と知的財産権の概要を理解する。
3. 医療領域における知的財産権の概要を理解する。
4. 医・理工農連携の研究事例について理解を深める。
5. 産学連携による新技術創出の状況を把握する。
6. 産学連携を社会貢献の視点から理解する。
7. マーケティングや経営戦略を理解する

行動目標 specific behavioral objectives

1. 発明の権利化とその意義を説明できる。
2. 知的財産権の創造・保護・活用を説明できる。
3. 医療分野における知的財産権の重要性を説明できる。
4. 医・理工農連携による研究開発にあたり知的財産権を理解し行動することができる。
5. 医・理工農連携による実用化の事例を説明できる。
6. 研究・開発のマネージメントを説明できる。
7. マーケティングや経営戦略について説明できる。

成績評価法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

参考文献

- 1) 「研究・教育・ビジネス現場のための特許・知的財産権の教科書」
辻本一義 PHP 研究所
- 2) バイオ特許入門講座 隅蔵康一 羊土社
- 3) 最新MOT〈技術経営〉がよ〜くわかる本 出川 通 秀和システム
- 4) 標準MOTガイド 技術経営コンソーシアム監修, 三菱総合研究所編 日経BP社
- 5) 「わかりやすいマーケティング戦略」沼上 幹 有斐閣アルマ

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	イントロダクション	中村・阿久戸
2	発明と権利化	阿久戸
3	知的財産概論	〃
4	知的財産権 1（創造）	〃
5	知的財産権 2（保護）	〃
6	知的財産権 3（活用）	〃
7	知的財産特論 1（医療分野）	中野
8	知的財産特論 2（医工連携）	〃
9	医・理工農連携による研究事例 1（総合事例）	中村
10	医・理工農連携による研究事例 2（島根大学の事例）	〃
11	教育研究と社会連携	〃
12	研究と開発のマネジメント	北村
13	産学連携による新事業創出事例	〃
14	マーケティングと経営戦略 1	丹生
15	マーケティングと経営戦略 2	〃